

～ 富士見市指定文化財の紹介 ～

獅子舞

指 定	市
種 別	民俗文化財
種 類	無形民俗文化財
員 数	2
指定日・ 保存団体	【9号】昭和58年（1983）6 月20日・南畑八幡神社獅子舞 保存会
	【12号】平成1年（1989）1月 10日・渡戸獅子会



（9号）南畑八幡神社獅子舞



（12号）諏訪神社獅子舞

【概 説】

獅子舞は獅子の霊力で邪気を追い払い、悪疫退散と五穀豊穡を願って舞うもので、疫病のはやる夏から秋に行われるのが一般的です。市内には南畑八幡神社獅子舞と鶴馬諏訪神社獅子舞があります。獅子舞は女獅子・男獅子・中獅子・猿若太夫（山の神）によって舞われる“ささら獅子舞”です。

南畑八幡神社獅子舞は、起源は定かではありませんが、市内渡戸より伝えられ、幕末の頃にはすでに行われていたといわれています。

諏訪神社の獅子舞については、その起源は不明ですが、次のような伝説が残っています。江戸城築城後、外城の候補地のひとつとして鶴馬としてあげられ、その頃折り悪く里に疫病が流行り苦しんでいましたが、この様子を見た太田道灌の配下が村人に獅子舞を伝え、鶴馬の鎮守である諏訪神社に奉納させたところ、疫病がおさまったというものです。現在、8月28日の諏訪神社の祭礼に奉納されています。